



Shin-ei



えにし
縁だより
外壁の歩み



本格的な暑さを迎え、ますますご壮健でご活躍のこととお慶び申し上げます。今月は内場智仁が「外壁モルタル」の歴史についてお話します。築20年以上のお家でよく見かけるモルタル壁(セメント・砂・水が調合された壁材)の始まりは大正時代と言われています。奈良・平安時代では土壁工法、江戸時代は漆喰工法。左官職人の技術が注目された時期でもありました。土壁を使った建物では、火事による被害が大きい為セメント系材料の不燃性が求められ左官職人の技術が発達しました。大正時代には震災の大火事でモルタル壁が普及し始めます。大戦後、空襲で焼け野原になった街を見て住宅の防火性能がいかに大切かその認識は広く浸透していくようになりました。法律や規格が定まるとモルタル壁は一気に全国へ普及していきました。現在では、防火性能を持ったサイディングパネルが外壁の主流となっていますがモルタル壁は伝統的な外壁として今も根強い人気を誇っています。皆様のお家を守ってくれる外壁の未来は、今後どのように進化していくのでしょうか？私の楽しみが一つ増えました。新しい材料のみならず、伝統的な材料の良さも大事にしていきたいものですね。



自由設計
Scene - A

2023

文月

株式会社シンエイ・シンエイリフォーム
兵庫県西宮市小曾根町4丁目5番16号
TEL 0798-47-1661 FAX 0798-48-0354
info@scene-a.com